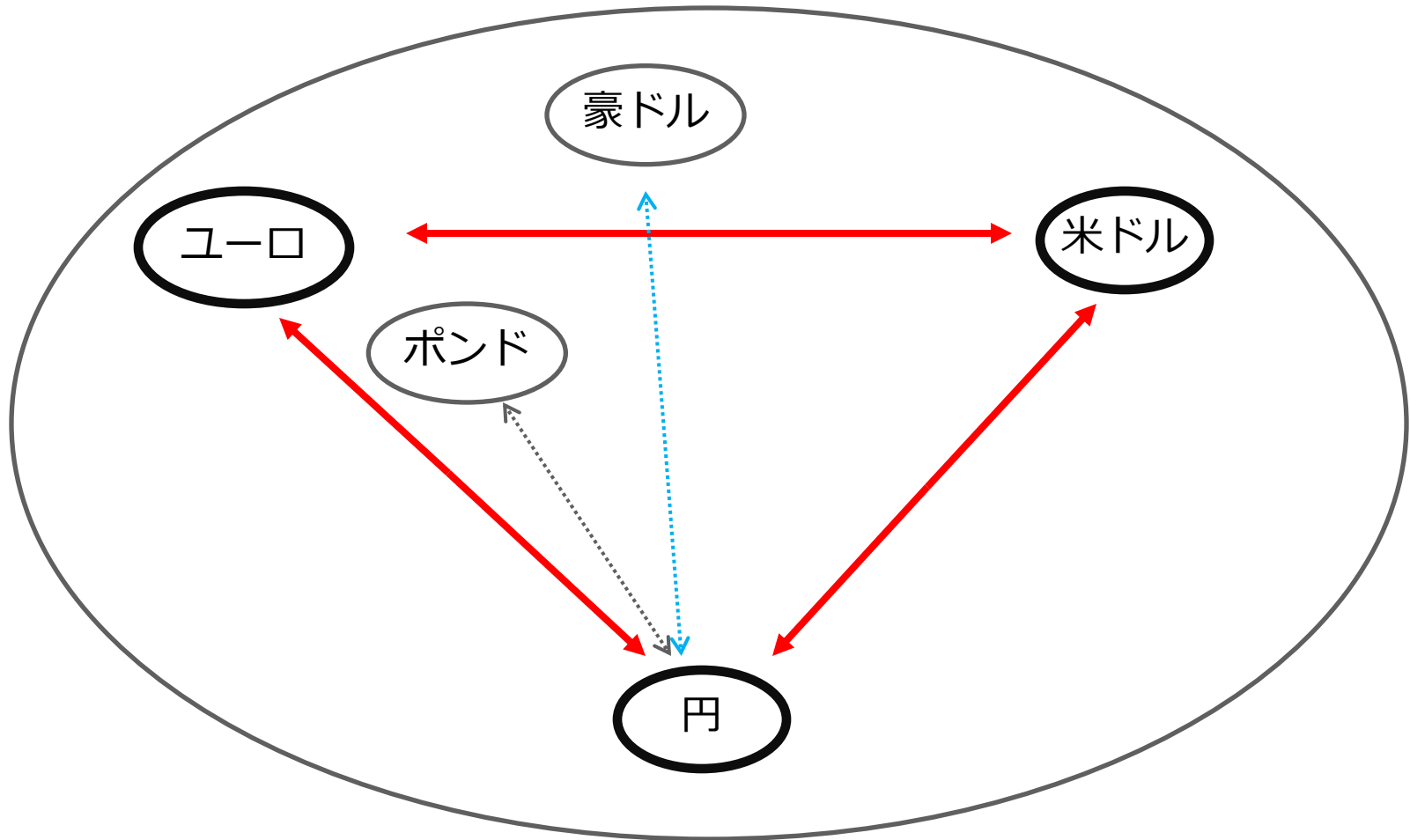


チャートリーディングの応用

株式会社チャートリーディング 井上義教
公益社団法人 日本証券アナリスト協会 検定会員

チャートリーディングの応用

通貨ペアの選択



通貨ペアの選択

● どの通貨ペアを選択するのか？

- 主要 3 通貨の強さを確認する
 - ・ 「より強い通貨」を買う & 「より弱い通貨」を売る
- サテライト通貨は対円で考える
 - ・ 円をベースに考える
- 使い慣れない通貨ペアを手がけない
 - ・ 注意力が散漫になる可能性
- 信用力のない通貨ペアの取引は極力控える
 - ・ 流動性が枯渇する可能性
 - ・ 金利に目を奪われがちになる可能性

トレードは「選択肢」の連続

- ロスカットするかどうかの選択
 - 「ダメだ」「何か違う」と思ったら即座に行動！→成行で損切り！
- 我慢すべき評価損に耐えた場合の選択
 - 選択① やれやれとポジションを外す
 - 選択② 相場観そのままにポジションキープ
 - 選択③ 買い乗せ・売り乗せの実行
- 利食うかどうかの選択
 - 利食いは難しい（本当に！）
 - いったんサイドライン的な立場で相場を見るという考えも重要

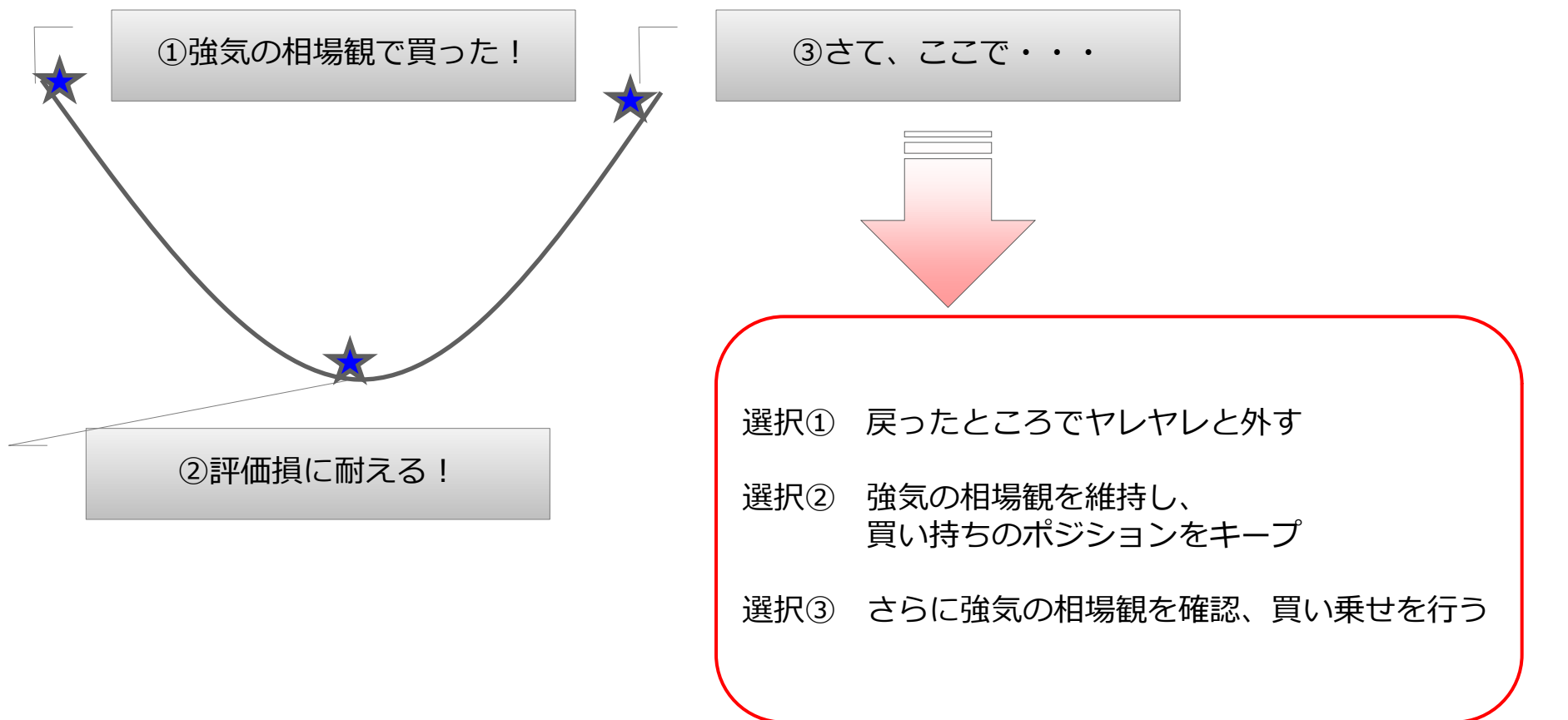
チャートリーディングの応用

トレードは「選択肢」の連続

①強気の相場観で買った！

③さて、ここで・・・

②評価損に耐える！

- 
- 選択① 戻ったところでヤレヤレと外す
 - 選択② 強気の相場観を維持し、
買い持ちのポジションをキープ
 - 選択③ さらに強気の相場観を確認、買い乗せを行う

買い乗せ・売り乗せ（売り下がり）とは？
⇒保有しているポジションを積み増すこと

- 保有しているポジションの評価益があること
 - ・ 相場観に基づいてポジションメイク→相場観と相場が一致している
 - ・ 相場観に変更がないことで、ポジションを保有したまま
- 相場観が、さらに確固たるものになったこと
 - ・ 相場観に自信があれば、買い乗せ・売り乗せのチャンス
 - ・ ナンピンと正反対の考え方と心得よ
- 相場観の強さに応じて、ポジションの大きさを調整すべし
 - ・ 買い乗せ・売り乗せを行わないトレードの方が難しい
 - ・ 買い乗せ・売り乗せは「相場の流れに従ったリスク量を増加させる行為」であり、収益状況を飛躍的に改善させる効果がある
 - ・ 自分自身の「調子」もポジションの大きさに反映できればベスト

チャートリーディングの応用

買い乗せ・売り乗せとは？

●ナンピンとの違いは・・・

	順張り？逆張り？	ポジションコストは？	勝てる？
ナンピン	逆張り	よくなる	×
買い乗せ・売り乗せ	順張り	悪くなる	○

- ポジションコストは悪化する
 - ・ それが何の意味を持つのか？
 - ・ 収益チャンスは格段に広がる

- 収益 = ポジションの大きさ × 値幅
 - ・ 相場観に自信があれば、ポジションは大きくなるべき
 - ・ トrendを最後の最後まで追いかける

トレンドラインの考え方

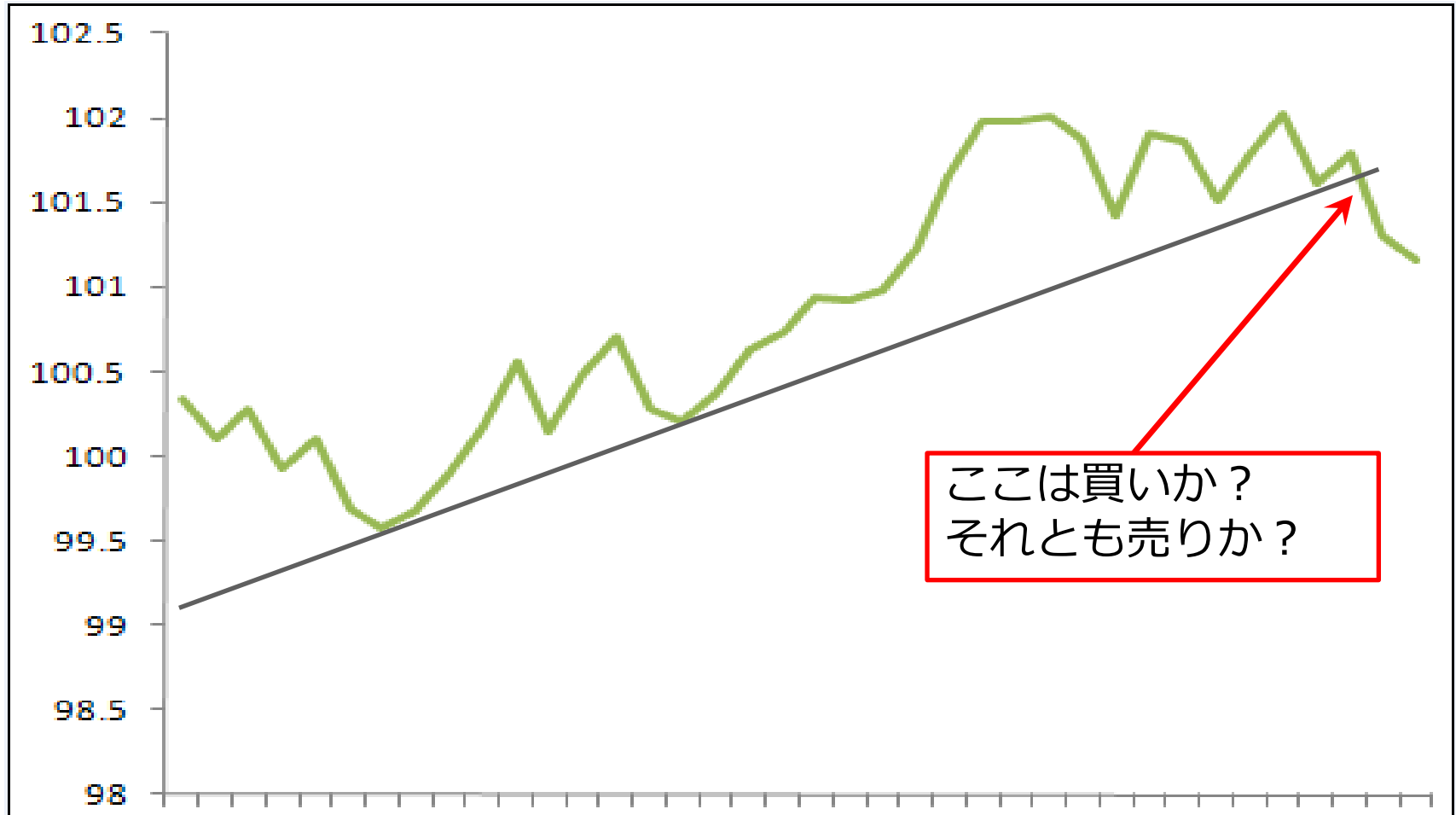
- トレンドラインを押し目買い・戻り売りの目安にしてはならない
 - ・ ∵ 買い相場なら売られたところを買うことになる
 - ・ 売り相場なら買われたところを売ることになる
 - これらは、逆バりに他ならない！

- トレンドラインは「いずれ割り込むもの」
 - ・ トレンドラインを切ったところから新しく始まるトレンドを取りに行くのが正解

- トレンドラインを「引き直し」してはいけない
 - ・ 何本も引き直しては、そもそもトレンドラインの意味がない

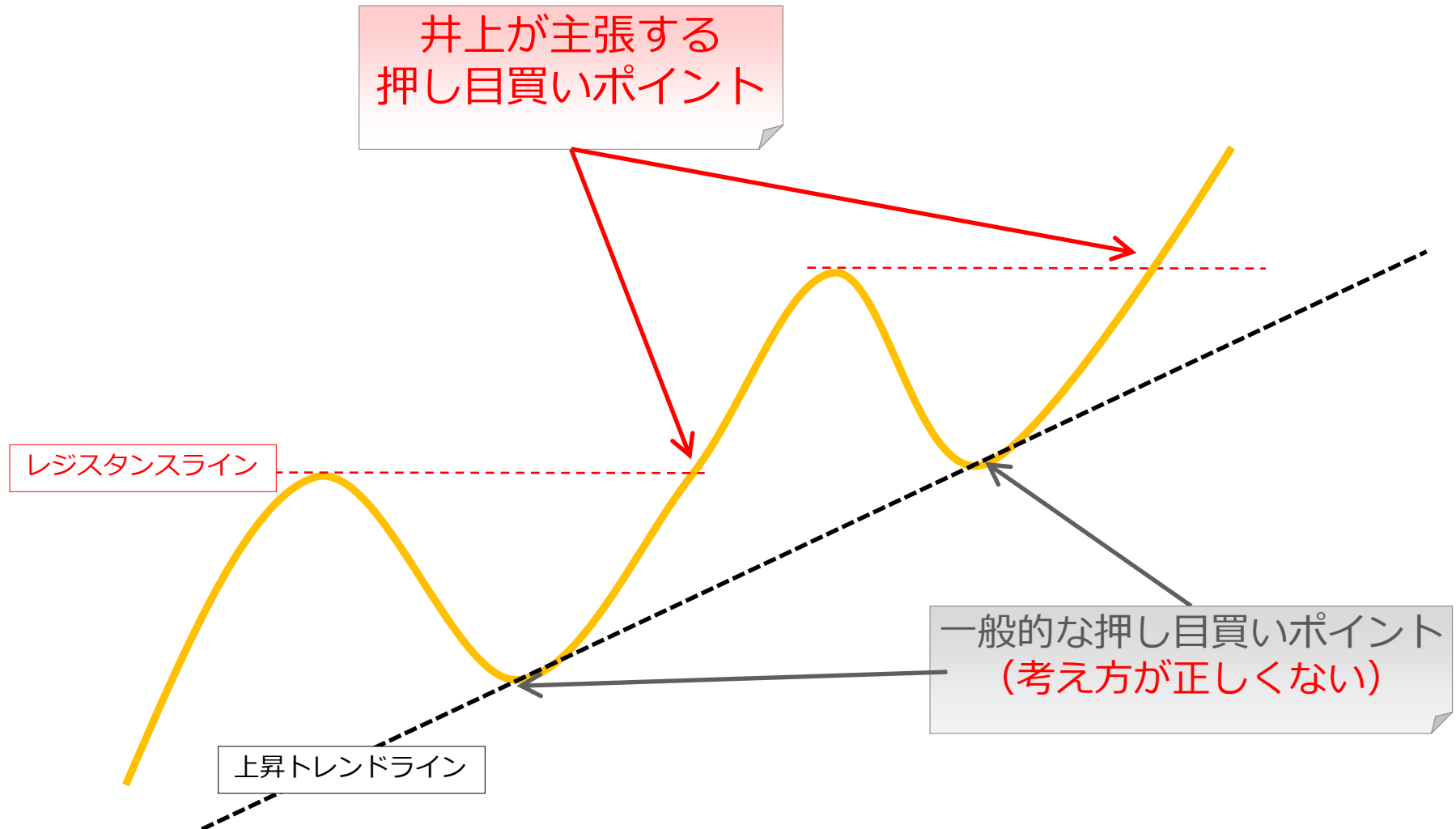
チャートリーディングの応用

トレンドラインの考え方

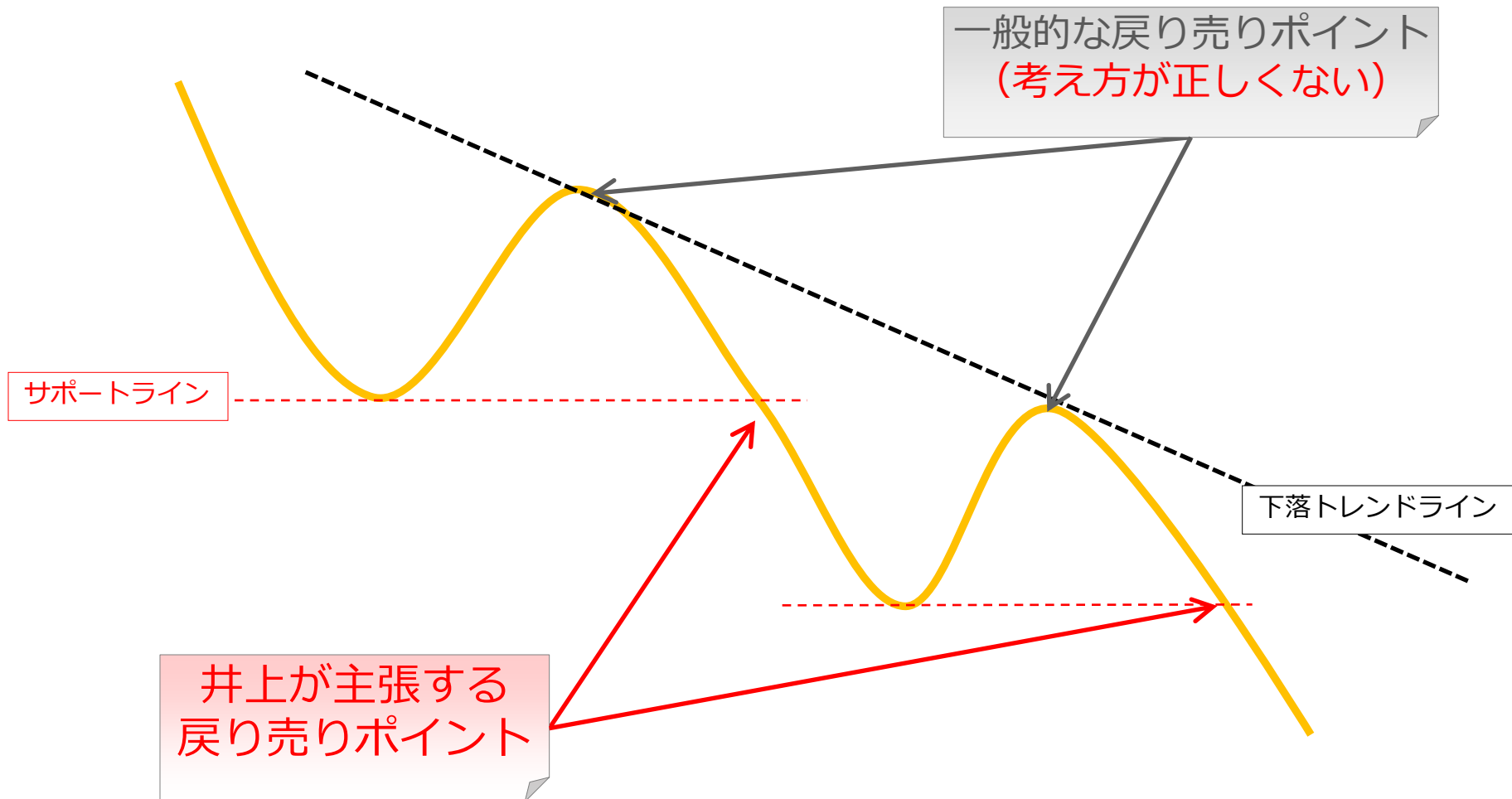


チャートリーディングの応用

正しい「押し目買い」とは？



正しい「戻り売り」とは？



利食いの方法（基本）

- 指値をポイントの手前に置く
 - 腹八分目
 - 利食った後にまた考える
 - 損切りポイントから逆算

- トレイリングストップの利用
 - 評価益の一部を繰り入れる
 - ポジションコストを参考に決める
 - 長期の移動平均線の推移幅を参考にする

利食いの方法（応用）

- 利食いと損切りのバランスについて
 - 損切り幅 < 利食い幅が原則
 - 評価益が乗ったら、以下から選択
 1. 損切りポイント・利食いポイントとも変更
 2. 損切りのみ変更
 3. 損切りのみ変更し、利食い注文を外す
- トレイリングストップの応用
 - 買い寄せ・売り寄せポジションを含めて決定する
 - 大きなトレンドが出た際には、最小単位でよいのでトレンド追隨のポジションコストを残す
 - トrend転換が明確に分かるポイントでは、全て利食えるような態勢に

書籍の紹介 (FXチャートリーディングマスターブック)



「著作権保護コンテンツ」

Index

2. はじめに なぜ個人投資家はFXで勝てないのか

第1章 データ分析に勝つために必要なスキルとチャートリーディングの基本を知ろう！

10 1-1 過去一現在のチャートから将来の動きを予想する
それが「チャートリーディング」

10 1-2 チャートリーディングならトレードの失敗を回避し
「人間的な部分」を排除できる

10 1-3 トレードをする際にファンダメンタルズ分析は
必要なのだろうか？

10 1-4 相場師の神髄

11 1-5 チャートリーディングでは
テクニカル分析を徹底的に利用する

11 1-6 チャートリーディングは「投資の神髄」

11 1-7 チャートリーディングに出るテクニカル指標は、
ボジッターなものばかり

11 1-8 5つのテクニカル指標には、
それぞれ得意な場面と得意な場面がある

第2章 知っているようで実は意外と知らない！ ローソク足は相場を知る最強のツールだ！

12 2-1 知っているプロは、
ローソク足の形勢そのものに注目している

「著作権保護コンテンツ」

110 3-1 ストキャスティクスでもボリンジャーバンドは
見逃せない重要なサイン

第6章 ローンと足と一緒に読み取る ボリンジャーバンドのここに注目！

110 6-1 見た目はやや複雑だが、
使い方はごくシンプルなボリンジャーバンド

110 6-2 利食い場合は逆張りして
ボジション作りは順張りして、これが原則

110 6-3 ボリンジャーバンドが広い間は、
もみ合い相場からの脱出時

110 6-4 為替レートが急激に上がった
様子を見逃すべし！

第7章 相場師が得意に、注文方法をどうするか プロのトレード戦術のキモを マスターする

114 7-1 相場師と注文
まつの投資スタイルの違いを再確認しておこう

114 7-2 ボジションを作る時は、
相場師の注文方法をいっぺんだけ

114 7-3 必ず指値でボジションを作っていないのか？

114 7-4 利益を確定するときは逆張りでもよい
注文は指値でOK

「著作権保護コンテンツ」

第9章 最も成功者が実践している 低リスクで実践的なトレード手法

114 9-1 トレンドラインに順って取引を開始するのは
百発百中って一発なし！

114 9-2 意外と知らない
「押し目買い」「戻り売り」の正しい方法

114 9-3 レンジブレイクアウトは
新場のボジションを作る絶好のチャンス

114 9-4 ロープ足での組みあわせやゴールデンクロス、デッドクロスは
どこまで活用できるか

114 9-5 利益の目標設定を決めるための
便利な3つの方法

第10章 投資成功を志すならには 正しいマネーマネジメントが大切！

114 10-1 デモンは相場に勝ったトレード手法である
勝利に行きつけない！

114 10-2 勝っているプロが実践する
「買い乗せ」「売り下がり」をマスターしよう

114 10-3 ボジションの選定は、
「見通し」を重視すると効果的

114 10-4 プロは相場戦に加えて自分の様子も考慮して
売買する取引量を調整する

114 10-5 後継的なボジション選定である
トレードを行うにはかなりの経験が必要

114 10-6 例外的に有効なローソク足のフォーメーション
「白って黒い」を認める方法

「著作権保護コンテンツ」

第11章 トレードの秘訣をすべて 勝ち組投資家の ルーティンワークの中身

114 11-1 毎日チャートを見て
相場師の確信、勝てた「マーケットサマリー」が大切

114 11-2 毎日決まった気持ちで相場に向かうために
「トレード日記」のススメ

114 11-3 FXで儲けているプロは
実は3つの通貨ペアしか見ていない！

114 11-4 自分で行う最良なトレードに
システムトレードを組み合わせてリスクを分散する方法も

114 11-5 勝つためのチャートリーダーは、
なぜシステムトレードの成果をあれほど気にしているのか

114 11-6 勝っているプロはあんなに負けず
粘り強く勝っている

114 11-7 プロは動きで儲ける、テクニカル指標を正しく使う
そしてしっかりと記録する

114 11-8 FXで勝つためのチャートリストの活用

114 11-9 もしも失敗して
明日のより良いトレードのために
私の新人ディーラー時代の失敗談を披露します

2010年の刊行以来、10回の増刷を経て、
発行部数はFX書籍では異例の34000部！

「チャートリーディング」は
当社代表・井上義教の登録商標です。

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：JFX株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：関東財務局長（金商）第238号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1503